

寅さん歩 その 18

東京の学食めぐり-11



平野 武宏

「寅さん歩」の愛読者から「学食めぐり」をテーマに取り上げて欲しいとの要望がありました。最近是一般の人も食べられる学食が増えていますので、新シリーズとして東京にある大学キャンパスの学食をめぐり・紹介します。このテーマは訪れるだけでなく、実際に食べて・コメントが必要です。食べたいメニューが複数あり、複数回、足を運ぶこともあります。取材やコメントでは関係者にご迷惑をかけないよう配慮します。メニューの選択やコメントはあくまでも「寅次郎の好み・独断」としてお読みください。構内の写真撮影は建物外観のみで人物が写り込まないことが原則です。

今回は日本一の規模を誇る日本大学の学食めぐりです。卒業生の愛読者からは「なかなか母校が出てこない！」との声が聞こえてきます。大学本部は千代田区の九段にありますが、学部ごとに校舎が点在していて、どこから訪問しようかと迷います。

まずは千代田区にある2学部の学食を訪問します。メニューや値段は訪問時のものです。右上写真はパンダの食事風景です。

食べ過ぎて、こんなに太らないように注意です。最寄り駅は代表例です。

「日本大学」

明治22年(1889年)創立の「日本法律学校」が前身。創立に際して中心的役割を果たしたのが、時の司法大臣 山田顕義と若手法律家の11名で、山田顕義を学祖と位置付けています。

山田顕義は明治維新の中心人物のひとりで、松下村塾で学び、岩倉具視らと欧米各国を巡り「法律は軍事に優先する」と確信し、各内閣の司法大臣として近代的法治国家の基礎を確立した人です。大学公式サイトでは『欧米の法律を学ぶことが主流の当時において、日本の法律を学ぶ学校として誕生した本学は私学としての独自性を大いに発揮しました。明治36年(1903年)日本大学と改称。大正9年(1920年)大学設置。現在は多彩なフィールドを備えた魅力ある真の総合大学として教育、研究活動を始め医

療、生涯学習など、社会の発展に貢献すべく様々な活動を展開しています。

平成 19 年（2007 年）**教育理念「自主創造」**を選定、新時代を切り拓く人材の育成に努めています。「自主創造」とは知的好奇心を持って自ら課題に取り組み、新しい道を開いていくこと』と記載。キャンパスは各地に点在し、寅次郎の生まれ育った神奈川県藤沢市には湘南キャンパス 生物資源科学部があり、ウォーキングコースとしてよく訪れています。

【経済学部】 千代田区三崎町 1-3-2

最寄駅 JR 線 水道橋駅

経済学部の公式サイトによると『「ニチケイ」と呼ばれ、日本の中心にあり、日本一大きな経済学部で、学生数 6,500 人、ゼミ数 100 以上、ゼミ生数は約 20 人のきめ細かな少人数制、多方面で活躍する先輩数 110 万人、日大出身社長数 2.2 万人、留学先 13 ヶ国、近隣書店数約 200 店、最寄駅まで 5 分、主要駅（東京・新宿・秋葉原駅）まで約 15 分』と記載。

明治 37 年（1904 年）大学部に商科設置、翌年授業を開始。商学部、商経部と改称を経て、昭和 19 年（1944 年）経済学部と改称。水道橋駅と神保町駅の間の白山通りに本館を含む 6 つの経済学部の校舎（赤色）があります。神保町に向かって白山通りの左側の経済学部本館（写真下右）の B1F に学食がありました。



案内板の上の青色は近くにある法学部の校舎です。

法学部は13の校舎に分かれていました（法学部図書館含む）
法学部の学食は一般の人はいれないとのことでした。

経済学部の学食は「レザン」と名が付けられています。
写真下左はオムアベック 500円でチーズ入りのとろふわ卵の上
にカレーとチキン入りのクリームソースがかかるこだわりのひと
皿ですが、ランチタイムの後の15時からのメニューと
表示。平日の営業時間は10時30分～20時。



写真上右の冬季限定スペシャル丼 390円をいただきました。
ヒレカツがたっぷりのっていました。



写真左は後日訪問の
法学部学食に入れないので、経済学部学食
に戻り食べたチャー
シューメン 370円
です。4枚の厚切りチャー
シューがのっていました。

[理工学部] 千代田区神田駿河台 1-8-14

最寄駅 JR線 御茶ノ水駅

大正9年（1920年）日本大学高等工学校（土木・建築）として設立され、時代の声に応じて有能な技術者育成に努め、昭和3年（1928年）私立大学としては2番目の理工系大学 日本大

学工学部に発展。昭和 33 年（1958 年）理工学部へ名称変更。14 学科の幅広い分野で 1 年次は船橋キャンパス、2 年次以降は学科により今回訪問の駿河台キャンパスで学ぶとのこと。こちらにも 9 つの校舎のビルが点在、ビルの近くにはいかないと校舎と気付きませんでした。案内図の上部が J R 御茶ノ水駅、聖橋口からニコライ堂を左側に見る、お茶ノ水仲通りを下ると左側が三井住友海上火災本社ビル、右側が理工学部 1 号館（写真下左）です。1 号館の 2 F にカフェテリアがあります。



かぶりつきカツ丼 500 円（写真下左）をいただきました。丼をはみ出す細長いカツ、熱々ご飯にキャベツをたっぷり、秘伝のソースに辛子マヨネーズ、ボリュームたっぷりでした。ランチは 500 円、カレーは 400 円・ハーフ 200 円もあり。



理工学部1号館を出て、来た道に戻り、最初の角を右折すると建設中の南棟（2019年3月末完成、地上19F、地下3F）の先の本郷通りの角に理工学部5号館（写真下左）があります。1Fが5号館食堂です。写真下右は食堂入口です。平日の営業時間は11時～15時。



こちらは200円～500円までの沢山のメニュー（定食・丼・麺類・カレー）から選び、販売機で食券を購入します。250円の醤油ラーメンを食べました。前述の経済学部のチャーシューメンに負けない味でした。今まで食べた一番安い学食ラーメンでした。

春休み中なので一般のお客さんばかりで、街の食堂のようです。でも、今までは食堂に気づかず、通り過ぎていました。



入ってすぐにメニュー表示板



醤油ラーメン

建設中の南棟が完成すると駿河台キャンパスが変わりますね。卒業生にとっては懐かしい思い出が消えてしまうようですね。南棟には新しい学食も出来ると思います。また訪問してみたいものです。

次回は 東京の学食めぐり-12 です。

平野 寅次郎 拝